



畜産総合センターようじん通信

令和元年7月

◇譲渡可能頭数について

W♀

生まれ月	頭数
12月	9
1月	17
2月	36
3月	15

D♂

生まれ月	精液検査 済み(頭)	精液検査 未実施(頭)
11月	1	4
12月	4	10
1月	0	11
2月	0	7

7月4日時点の譲渡可能頭数は上記のとおりです。他の品種もご用意できます。
現在、譲渡待ちはなく、希望順に譲渡しておりますので、早めにご連絡いただければ幸いです。

※7月17日(水)以降、譲渡を再開する予定です。(7月5日現在の予定)

○衛生検査結果について

6月24日に、豚コレラ及びPRRSの検査(いずれも抗体検査)を実施し、全ての検体において陰性でしたのでお知らせします。

採材場所	月齢	採材数	結果
交配豚舎	12か月齢以上	6頭	陰性
初期育成室	3ヵ月齢	6頭	陰性
中期育成室	4ヵ月齢	6頭	陰性
性能調査室 (後期育成)	5ヵ月齢	6頭	陰性
検定豚舎 (精液検査雄)	8~12か月齢	6頭	陰性

○大相撲名古屋場所優勝力士への知事賞の贈呈について

愛知県では、毎年7月頃に開催される大相撲名古屋場所にて、昭和60年から副賞として愛知県の特産品を贈呈し、全国に向けたPRを行っています。

今年度は、系統豚を利用した愛知県産の豚肉、「みかわポーク」を副賞として贈呈することとなりました。

消費者の目に触れることで、愛知県で豚コレラと戦う全ての養豚農家及び関係者の支援者が増えることを期待するとともに、厳しい下積み時代を経て優勝する力士のように、産地が復興していくことを願い、我々も前を向いて踏ん張っていきたいと思います。



豚コレラウイルスの不活化 (感染性を失うまでの期間に係る既知の情報)

対象	温度帯	不活化されるまでの期間
ふん便・スラリー	4～5℃	1～3か月間
	20℃	2～14日間
豚房	冬期	1か月間
	37℃	7～15日間

消毒方法（但し、効果を維持するための濃度・交換頻度に注意）

消石灰

：強アルカリ作用によりウイルスを不活化するが、水溶液は空気中の二酸化炭素と反応して徐々にアルカリ化が減弱する。

→定期的に交換・蒔き直し

逆性石けん（パコマ・アストップ等）

：荷電によりウイルス等に吸着し、その構成分子を変性させるが、有機物が混入しているとウイルスより有機物に吸着してしまい、ウイルス不活化効果が減弱する。

→有機物混入の防止、定期的に交換

皆さまにおかれましても、消毒や長靴交換等の継続を何卒お願いします。作業の増加に最初は苦しい気持ちになることもあるかもしれませんが、改めて適切な消毒方法を学び、効果を意識しながら地道な努力を継続することは、豚コレラ防疫の意味だけでなく、今後も養豚業を継続していく上で無駄にならないと考えられます。

また、万が一発生してしまったとしても、速やかに防疫措置が行われることで感染の連鎖が断ち切れ、地域全体が早期に清浄化された方が、安心して、速やかに再建に臨めるはずです。早期発見もまた自農場の経営に返ってくると考え、引続き、家畜保健衛生所の検査等に何卒ご協力をお願い致します。